

## 新たな県立病院改革プランについて

- ◇ 県立病院が、地域住民の健康をしっかりと守ることのできる医療を確保することを前提に、『地域をささえ、つなぎ、共にすすむ』『病院経営の効率化』を基本目標として、平成29年度から令和2年度までの4年間における病院経営の指針として策定したもの。
- ◇ 「Ⅰ 各県立病院で果たすべき基本的役割」、「Ⅱ 医療の質の向上の取組」、「Ⅲ 県立病院事業の経営効率化に向けた収支計画」を取組内容とし、その取組状況を毎年進行管理していく。

### ＜改革プランの経過＞

- ① 県立病院改革プラン：平成21年度～平成25年度
- ② 第2次県立病院改革プラン：平成26年度～平成28年度
- ③ 新たな県立病院改革プラン：平成29年度～令和2年度
- ④ ふくしま県立病院事業改革プラン：令和3年度～令和5年度

### ＜経営評価委員会の主な役割＞

県立病院改革プランの取組状況を点検・評価し、病院局及び各県立病院に対して意見・助言を行うこと。

## 新たな県立病院改革プラン進行管理

### Ⅰ 県立病院の取組状況

P. 2

#### ■ 各県立病院の基本的役割を果たすために必要となる主要な取組の実績

基本的役割				
中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ	先進的な精神科医療の提供	震災からの復興・再生を支える安心な医療の提供		
南会津病院	宮下病院	矢吹病院	ふたば医療センター	
			附属病院	ふたば復興診療所

### Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

P. 3～7

#### ■ 各県立病院における医療の質の向上に向けて実施する病院機能評価等の結果

病院機能評価	<p>各県立病院の組織全体の運営管理と提供する医療について「患者中心の医療」「良質な医療」「チーム医療」「組織運営」の各領域の項目（一般病院：89項目、精神病院：92項目）を外部審査等により評価</p> <p>→ 外部審査：5年に1回受審 中間検査：外部審査認定後3年目に受審 自主点検：上記審査等以外の年に実施</p>
数値目標評価	<p>病院機能評価の項目の中から各県立病院で設定した数値目標の評価</p> <p>→ 目標評価：目標値達成状況の自己評価（定量評価）</p>

### Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況

P. 8

- 患者状況
- 決算状況
- 収支計画の目標「政策医療経費の繰入」「累積欠損金の処理」の状況

# I 県立病院の取組状況

## 【基本的役割】 中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ

### 南会津病院(98)

院長 佐竹 賢仰



#### ◆救急医療の水準確保

- 南会津地域唯一の救急告示病院として、『断らない救急』を目指し、24時間365日体制で救急医療を実施

	H30	R1	R2
救急車受入(回)	712	685	559
時間外患者(人)	3,403	3,346	1,786

#### ◆公的診療所等への診療応援

- 只見町朝日診療所等への応援を実施

	H30	R1	R2
国保診療所(回)	42	65	45
特養老人ホーム(回)	55	67	66

※H30より、地域医療支援C(南会津広域町村組合)が行っていた訪問診療について継承

#### ◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H30	R1	R2
初期臨床研修医(人)	11	13	21
地域医療実習(人)	3	1	0

#### ◆訪問看護ステーションの運営

- 平成29年11月に「訪問看護ステーション」を運営し、利用者の在宅療養を支援

	H30	R1	R2
訪問看護利用者(人)	981	1,928	2,315

#### ◆地域住民の健康増進への支援

- 看護師による医療講演会の開催
- 平成30年11月、認知症疾患医療センター指定を受け、業務を開始
- 令和2年1月、県立福島医大とICTを活用した遠隔管理を開始、高度な透析医療を提供

	H30	R1	R2
医療講演会(回)	29	9	2
医療相談会(回・人)	5・100	4・70	※0・0

※医師の医療相談会は新型コロナウイルスの影響により中止

### 宮下病院(32床)

院長 横山 秀二



#### ◆救急医療の水準確保

- 救急協力病院として、必要な医療機能や病床を確保するとともに、地域の医療機関等と連携して救急医療を実施

	H30	R1	R2
救急車受入(件)	78	81	57
時間外患者(人)	525	538	226

#### ◆公的診療所等への診療応援

- 金山町国保診療所等への応援を実施

	H30	R1	R2
国保診療所(回)	150	161	102
特養老人ホーム(回)	71	70	64

#### ◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H30	R1	R2
初期臨床研修医(人)	7	6	8
地域医療実習(人)	9	7	9

#### ◆訪問診療・訪問看護等の充実

- 地域住民が安心して在宅療養ができる訪問診療・訪問看護を実施し、平成30年11月から更に、介護保険に係る訪問看護を開始
- 出前講座による地域住民の健康増進の支援
- 令和2年7月、会津医療センターから派遣された医師・看護師等の訪問医療チーム(奥会津在宅医療センター)による訪問診療、訪問看護を開始

	H30	R1	R2
訪問診療(件)	41	41	183
内 奥会津C(件)			177
訪問看護(件)	70	273	188
内 奥会津C(件)			110
出前講座(回・人)	40・564	32・472	5・86
院内健康教室(回・人)	49・419	46・317	※0・0

※院内健康教室は新型コロナウイルスの影響により中止

## 先進的な精神科医療の提供

### 矢吹病院(196床)

院長 橘高 一



#### ◆明るく開放的で快適な病院への建替

- 先進的な精神科医療を担う「ふくしま医療センター ころの杜(仮称)」として全面建替を行うため、解体工事まで完了、新築工事に着手

#### ◆措置入院者等の受入

- 自分や他人を傷つける危険が高いと診断された者の入院を受入れ、地域で生活できるよう、関係機関と連携した退院後の支援を実施

	H30	R1	R2
措置入院(人)	3	9	4

#### ◆児童思春期外来の実施

- 平成23年8月に開設した児童思春期外来における専門的な診療の実施

	H30	R1	R2
児童思春期外来(人)	3,181	4,233	4,773

#### ◆訪問看護・デイケアの充実

- アウトリーチ(多職種による訪問支援)の実施
- 医療相談室や訪問看護ステーションを中心に患者の地域移行・地域定着支援を実施
- 未治療者やひきこもりの障がい者へのアウトリーチによる早期発見・治療の促進

	H30	R1	R2
訪問看護(人/日)	19.2	17.4	14.4
デイケア(人/日)	12.5	14.2	10.2
アウトリーチ(件)	82	25	37

#### ◆精神科救急医療への対応

- 精神科救急医療システム指定医療機関として、救急輪番に対応するとともに、夜間・休日の精神科救急情報センター業務(電話相談・受入先調整)を受託

	H30	R1	R2
休日・時間外診療患者数(人)	17	22	14
休日・時間外入院患者数(人)	22	29	11

## 震災からの復興・再生を支える安心な医療の提供

### ふたば医療センター

#### 附属病院【ふたば】(30床)

センター長(兼)  
院長 谷川 攻一



#### ◆地域医療の確保

- 双葉地域唯一の二次救急医療機関として、平成30年4月23日診療開始
- 同地域の救急医療の更なる強化に向け、同年10月29日多目的医療用ヘリの運航を開始  
令和2年度ヘリ運航件数:49件(R1:65件)

	搬送人数(a)	うち管内搬送(b)	うちふたば搬送	管内搬送率(b/a)
R2	985	596	551	60.5
R1	1,057	647	592	61.2
H30	905	503	444	55.6

#### ◆提供する医療機能

- 診療科:救急科・内科
- 救急医療(24時間365日対応)

	R1	R2
入院(人)	1,572	2,183
外来(人)	4,352	4,698
うち訪問看護(人)	183	315

#### ふたば復興診療所【リカール】

診療管理者  
伊藤 博元



#### ◆地域医療の確保

- 県立福島医大のバックアップにより、大学病院と同等の高度な診療を提供する「かかりつけ医」として附属病院と役割分担し、外来診療を実施

#### ◆患者数の動向

- 帰還住民の増加に伴い患者数が増加
- 地域別では、楡葉町と広野町で全体の8割弱
- 年齢別では、全体の7割以上が60歳以上

	H30	R1	R2
内科(人)	5,131	5,160	4,395
整形外科(人)	2,652	2,972	2,916



Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

南会津病院

〈参考〉

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和2年7月 改善：（未実施）
点検結果概要 （令和2年7月）	【S評価：2項目、A評価：72項目、B評価：13項目、C評価：0項目】 ■ 改善結果について、院内の運営委員会において報告した。 ■ B評価項目について、引き続き改善に取り組んでいく。
前回からの 改善結果	【前回点検時（R2.2）の自己評価 S評価：2項目、A評価：72項目、B評価：13項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善：1項目 →「臨床検査機能を適切に発揮している」 ■ A評価からB評価へ悪化：1項目 →「医事業務を適切に行っている」

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和2年度				令和元年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の 推進	患者満足度・家族満足度	84.5%	93.3%	5	接遇改善の取組みなどによる	83.0%	93.8%	5
	広報誌の発行数等	3回	3回	5	広報紙「かけはし」を5月、8月、12月の3回発行し、郡内全戸に配布した	3回	3回	5
	ホームページ更新数	45回	45回	5	診療情報や入札情報などにより随時更新した	45回	45回	5
	交流イベントの開催	2回	0回	－	院内コンサート等を予定するも、新型コロナウイルス感染拡大防止より中止とした	2回	2回	5
良質な医療の実践	紹介率	20.6%	21.4%	5	地域内の診療所等との相互の紹介が定着したことなどによる	20.4%	20.5%	4
	逆紹介率	15.6%	16.1%	5	地域内の診療所等との相互の紹介が定着したことなどによる	15.4%	18.9%	5
	病床利用率	59.7%	34.2%	2	常勤医師の減、新型コロナウイルス病床確保などによる	60.5%	49.8%	3
理念達成に向けた 組織運営	常勤医師数	12人	8人	2	非常勤医師の確保に向け、関係機関等へ働きかけを行った	12人	10人	3
	医療安全研修参加率	90.0%	100.0%	5	感染症対策のために、書面研修とした設問の回答をもって参加とした	90.0%	95.0%	5
	資格取得者支援者数	8人	9人	5	糖尿病指導士、救急分野など積極的に資格取得を支援した	6人	17人	5
	経常収支比率	100.1%	100.0%	5	医療収益が減少したものの、目標を達成できた	100.1%	99.9%	4
	医療収支比率	62.8%	52.7%	3	入院、外来患者数減により収益減少するも、費用も減少したためほぼ目標を達成できた	63.0%	63.1%	5
	過年度未収金残高	7.8百万円	5.6百万円	5	督促、催告状に取組むとともに、回収困難案件は弁護士へ委託した	7.9百万円	5.4百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色、評価なし→着色なし

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

南会津病院の状況

県立南会津病院			
事業開始年月		S24.7	
年度		R 2 実績	R元実績
R 2 -R元			
1	施設等の概要		
	病床数【床】	98	98
	100床当たり医師数【人】	8.0	11.0
	医師数【人】	8	10
	100床当たり看護職員数【人】	104.0	95.0
	看護職員数【人】	104	87
2	病院概要		
	診療圏の人口【人】	23,658	24,291
	診療科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科
3	損益の状況		
	病院事業収益【千円】	2,161,743	2,246,336
	医療収益【千円】	1,088,441	1,374,589
	（うち一般会計繰入金）	(101,974)	(117,664)
	入院収益【千円】	394,110	591,740
	外来収益【千円】	555,017	612,936
	その他医療収益【千円】	139,314	169,913
	医療外収益【千円】	1,032,415	870,151
	（うち一般会計繰入金）	(530,588)	(716,207)
	特別利益【千円】	40,887	1,596
	病院事業費用【千円】	2,163,527	2,251,256
	医療費用【千円】	2,064,126	2,179,271
	給与費【千円】	1,179,936	1,239,131
	材料費【千円】	211,083	273,837
	経費【千円】	464,954	474,046
	減価償却費【千円】	167,704	149,699
	資産減耗費【千円】	9,745	8,691
	研究研修費【千円】	30,704	33,867
	医療外費用【千円】	56,011	68,663
	（うち企業債利息）	(56,011)	(68,663)
	特別損失【千円】	43,390	3,322
	医療収支〔収益-費用〕【千円】	-975,685	-804,682
	純損益【千円】	-1,784	-4,920
	収支差補填額（全額一般会計繰入金）【千円】	275,252	448,751
4	経営分析		
	病床利用率【%】	34.2	49.8
	平均在院日数【日】	15.3	19.7
	入院患者数【人】	12,216	17,801
	1日平均入院患者【人】	33.5	41.8
	入院診療単価【円】	32,262	33,391
	外来患者数【人】	48,984	57,129
	1日平均外来患者【人】	206	238.0
	外来診療単価【円】	11,331	10,750
	外来/入院比率【%】	401.0	320.9

収益増減理由
○入院収益の減（△197,630千円） ・入院患者数の減（△5,585人）
○外来収益の減（△57,919千円） ・外来患者数の減（△8,145人）
○その他医療収益の減（△30,599千円） ・健診・ドック中止、退職者の減
○医療外収益の増（+162,264千円） ・補助金の増（+328,234千円） ・一般会計負担金の減（△187,266千円）
費用増減理由
○給与費の減（△59,195千円） ・手当、法定福利費の減
○材料費の減（△62,754千円） ・患者減に伴う薬品、診療材料の減、
○経費の減（△9,092千円） ・賃借料、修繕費、光熱水費の減
○減価償却費の増（+18,005千円） ・償却資産の増
○資産減耗費の増（+1,054千円） ・固定資産除却の増
○特別損失の増（+40,068千円） ・新型コロナウイルス労金の増

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

宮下病院

<参考>

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検時期：令和3年1月～2月 改善：令和3年3月
点検結果概要 (令和3年1月～2月)	【S評価：0項目、A評価：55項目、B評価：30項目、C評価：0項目】 ■ 各部署において、病院機能評価項目に基づいて自主点検を行った。 ■ 前回の評価でBと評価された項目を中心に、設備の改善、ホームページの掲載、患者・職員への教育と院内の掲示などを実施した。
改善結果 (令和3年3月)	【S評価：0項目、A評価：58項目、B評価：27項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善：3項目 →「医療機器を安全に使用している」 「医療関連感染を制御するための活動を実践している」 「診断的検査を確実・安全に実施している」 ■ B評価項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和2年度				令和元年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	80.0%	76.1%	4	来院者に対しチラシの配布（地域住民の健康保持・増進、疾病予防の注意喚起など）	79.0%	77.5%	4
	広報誌の発行数等	12回	12回	5	愛ばんしょ外来広報、町内広報誌	12回	21回	5
	ホームページ更新数	30回	19回	2	診療予定表の更新等	30回	30回	5
	交流イベントの開催	4回	0回	－	新型コロナの感染対策のため、交流イベントは中止	4回	7回	5
良質な医療の実践	紹介率	29.5%	33.2%	5	会津管内の他病院と当院で新型コロナの感染状況を考慮した連携を図った。	29.0%	20.3%	3
	逆紹介率	32.5%	39.9%	5	医師が他機関へ診療応援を行い、患者の診察をするなど他機関との綿密な連携を図っている。	32.0%	32.1%	5
	病床利用率	46.3%	17.4%	1	介護老人保健施設からの入院受け入れ	46.2%	29.4%	2
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	5人	2人	1	本局対応	5人	3人	2
	医療安全研修参加率	90%	100.0%	5	研修回数を複数回に分けて実施、受講できない場合には書面で実施	89.0%	100.0%	5
	資格取得者支援者数	8人	0人	－	新型コロナの感染防止のため、各種研修会や講習会が中止となった。	6人	4人	2
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5	特になし	100.0%	94.8%	4
	医業収支比率	39.7%	23.4%	2	新型コロナ感染対策（仮設陰圧ハウスの賃借、応援医師の確保）	39.5%	34.1%	3
	過年度未収金残高	0.3百万円	0.2百万円	5	督促等の実施、来院時の声かけ	0.3百万円	0.3百万円	5

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

宮下病院の状況

県立宮下病院				
事業開始年月		S26.11		
年度		R 2 実績	R元実績	R 2 -R元
1	施設等の概要			
	病床数	32	32	0
	100床当たり医師数	12.5	14.0	-1.5
	医師数	2	3	-1
	100床当たり看護職員数	89.0	104.0	-15
	看護職員数	26	26	0
2	病院概要			
	診療圏の人口	7,478	8,001	-523
	診療科	内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんごう科/精神科	内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんごう科/精神科	
3	損益の状況			
	病院事業収益	680,503	683,498	-2,995
	医業収益	157,841	232,877	-75,036
	（うち一般会計繰入金）		(30,276)	(-30,276)
	入院収益	55,070	88,654	-33,584
	外来収益	91,140	96,685	-5,545
	その他医業収益	11,631	47,538	-35,907
	医業外収益	518,610	415,857	102,753
	（うち一般会計繰入金）	(467,103)	(370,621)	(96,482)
	特別利益	4,052	34,764	-30,712
	病院事業費用	681,116	684,578	-3,462
	医業費用	674,646	682,270	-7,624
	給与費	397,349	428,496	-31,147
	材料費	31,296	33,908	-2,612
	経費	187,312	156,396	30,916
	減価償却費	48,222	47,417	805
	資産減耗費	796	2,097	-1,301
	研究研修費	9,671	13,956	-4,285
	医業外費用	1,562	1,718	-156
	（うち企業債利息）	(1,562)	(1,718)	(-156)
	特別損失	4,908	590	4,318
	医業収支〔収益-費用〕	-516,805	-449,393	-67,412
	純損益	-613	-1,080	467
	収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	406,289	313,550	92,739
4	経営分析			
	病床利用率	17.4	29.4	-12.0
	平均在院日数	13.4	14.2	-0.8
	入院患者数	2,036	3,448	-1,412
	1日平均入院患者	5.6	9.4	-3.8
	入院診療単価	27,150	25,777	1,373
	外来患者数	11,990	13,355	-1,365
	1日平均外来患者	49.8	55.9	-6.1
	外来診療単価	7,988	7,289	699
	外来/入院比率	588.9	387.3	201.6

収益増減理由
○入院収益の減（△33,584千円） ・入院患者数の減（△1,412人）
○外来収益の減（△5,545千円） ・外来患者数の減（△1,365人）
○その他医業収益の減（△35,907千円） ・一般会計からの繰入の減（△30,276千円）
○医業外収益の増（+102,753千円） ・一般会計負担金の増（+92,739千円）
○特別利益（△30,712千円） ・前年度は固定資産の修正により+34,482千円

費用増減理由
○給与費の減（△31,147千円） ・退職手当の減（△30,276千円）
○経費の増（+30,916千円） ・報診療応援経費等の増（+15,315千円） ・診療応援医師送迎及び 仮設陰圧ハウスの賃借（+6,087千円）
○特別損失の増（+4,318千円） ・新型コロナ慰労金の増

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

矢吹病院

〈参考〉

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	公益財団法人日本病院機能評価機構による訪問審査
実施時期	訪問調査：令和２年９月３日、４日
評価結果概要 (令和２年９月)	【Ｓ評価：１項目、Ａ評価：８０項目、Ｂ評価：５項目、Ｃ評価：０項目】 ■ 公益財団法人日本医療機能評価機構による外部審査を受審。 ■ 課題としては、診療記録の開示請求に迅速かつ確実に答えるシステムの構築する点である、とされた。 ■ 訪問審査の結果、認定更新となった。 ■ 外部審査においてＢ評価とされた項目について、引き続き改善に取り組んでいく。
前回からの 改善結果	【前回点検時（Ｒ１.１２）の自己評価 Ｓ評価：０項目、Ａ評価：６１項目、Ｂ評価：２５項目、Ｃ評価：０項目】 ■ Ａ評価からＳ評価へ改善：１項目 →「外来診療を適切に行っている」 ■ Ｂ評価からＡ評価へ改善：２２項目 →「患者との対話を促進している」「患者の個人情報・プライバシーを適切に保護している」 他２１項目 ■ Ａ評価からＢ評価へ悪化：２項目 →「患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている」 「洗浄・滅菌機能を適切に発揮している」

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和２年度				令和元年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の 推進	患者満足度・家族満足度	75.0%	70.9%	4	接遇研修、接遇チェックリスト	74.0%	78.0%	5
	広報誌の発行数等	2回	2回	5	広報誌「彩雲」（９、３月 各1,000部）	2回	2回	5
	ホームページ更新数	105回	83回	3	診療情報、入札情報等	105回	76回	3
	交流イベントの開催	2回	0回	－	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず	2回	0回	1
良質な医療の実践	紹介率	63.0%	88.3%	5	地域医療連携室で専任2名体制	63.0%	64.0%	5
	逆紹介率	27.0%	11.5%	1	地域医療連携室で専任2名体制	27.0%	9.2%	1
	病床利用率	80.5%	62.2%	3	断らない医療（予約無し患者に対応するため責任番配置。休日、夜間受入）	82.2%	70.6%	3
理念達成に向けた 組織運営	常勤医師数	10人	7人	3	新病院に向けて医師を確保	9人	9人	5
	医療安全研修参加率	95%	98.6%	5	2つの研修を3密回避のために、1回の人数を20人以内に抑え、8回ずつ実施	95%	97%	5
	資格取得者支援者数	1人	0人	－	新型コロナウイルス感染拡大防止	1人	1人	5
	経常収支比率	100.1%	99.9%	4	入院収益、外来収益の減	100.7%	99.8%	4
	医業収支比率	51.7%	50.1%	4	入院収益、外来収益の減	50.0%	57.0%	5
	過年度未収金残高	4.0百万円	3.9百万円	5	督促、出張徴収、弁護士への回収委託	4.0百万円	4.1百万円	4

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【５】	目標値を上回った。達成度１００％以上
【４】	目標値を達成できた。達成度９０％以上
【３】	目標値をほぼ達成できた。達成度７０％以上
【２】	目標値を下回った。達成度５０％以上
【１】	目標値を大きく下回った。達成度５０％未満

矢吹病院の状況

県立矢吹病院				
事業開始年月	S30.11			
年度	R 2 実績	R元実績	R 2 -R元	
1 施設等の概要				
病床数	【床】196	196	0	
100床当たり医師数	【人】6.1	6.9	-0.8	
医師数	【人】8.9	10.1	-1.2	
100床当たり看護職員数	【人】45.9	45.4	0.5	
看護職員数	【人】90	89	1	
2 病院概要				
診療圏の人口	【人】265,677	268,545	-2,868	
診療科	精神科/内科/歯科	精神科/内科/歯科		
3 損益の状況				
病院事業収益	【千円】1,842,968	2,000,212	-157,244	
医業収益	【千円】917,561	1,140,205	-222,644	
（うち一般会計繰入金）		(254,783)	(-254,783)	
入院収益	【千円】549,161	651,186	-102,025	
外来収益	【千円】182,483	191,750	-9,267	
その他医業収益	【千円】185,917	297,269	-111,352	
医業外収益	【千円】915,211	859,344	55,867	
（うち一般会計繰入金）	(807,745)	(820,739)	(-12,994)	
特別利益	【千円】10,196	663	9,533	
病院事業費用	【千円】1,845,058	2,003,178	-158,120	
医業費用	【千円】1,830,033	1,999,321	-169,288	
給与費	【千円】1,363,254	1,573,182	-209,928	
材料費	【千円】80,399	111,932	-31,533	
経費	【千円】279,592	196,833	82,759	
減価償却費	【千円】66,637	67,334	-697	
資産減耗費	【千円】849	827	22	
研究研修費	【千円】39,302	49,213	-9,911	
医業外費用	【千円】5,009	3,252	1,757	
（うち企業債利息）	(5,009)	(2,214)	(2,795)	
特別損失	【千円】10,016	605	9,411	
医業収支〔収益-費用〕	【千円】-912,472	△ 859,116	-53,356	
純損益	【千円】-2,090	△ 2,966	876	
収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	【千円】661,258	592,991	68,267	
4 経営分析				
病床利用率	【％】62.2	70.6	-8.4	
平均在院日数	【日】292.2	227.9	64.3	
入院患者数	【人】33,164	37,725	-4,561	
1日平均入院患者	【人】90.9	103.1	-12.2	
入院診療単価	【円】16,559	17,262	-703	
外来患者数	【人】21,565	23,256	-1,691	
1日平均外来患者	【人】88.7	96.9	-8.2	
外来診療単価	【円】8,578	8,380	198	
外来/入院比率	【％】65.0	61.6	3.4	

収益増減理由
○入院収益の減（△102,025千円） ・入院患者の減（△4,561人） ○外来収益の減（△9,267千円） ・外来患者の減（△1,691人） ○その他医業収益の減（△111,352千円） ・退職手当対応経費の減（△103,467千円） ○医業外収益の増（＋55,867千円） ・一般会計からの繰入の増 （収支差補てん＋68,267千円）
費用増減理由
○給与費の減（△209,928千円） ・退職手当の減 （退職者数の減（R元:13人→R2:10人）） ・給食業務の委託により減 ○材料費の減（△33,273千円） ・給食業務委託による食材料料費の減 ○経費の増（＋81,181千円） ・給食業務の委託による増 ○研究研修費の減（△9,911千円） ・出張による研修の減 ○特別損失の増（＋9,411千円） ・新型コロナウイルス助産金の増
一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填



Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

ふたば医療センター附属病院

〈参考〉

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和3年3月 改善：（未実施）
点検結果概要 （令和3年3月）	【S評価：0項目 A評価：21項目、B評価：63項目、C評価：0項目】 ■ 各部署において、病院機能評価項目に基づいて自主点検を行った。 ■ 今回の評価を基準に、特にB評価の項目について、改善に取り組んでいく。 ■ 課題や改善すべき事項があり、対応が未実施の項目については、今後の改善状況を見極めるためB評価としたため、前回よりA項目が少なくなり、B項目が多くなった。 ■ 令和元年度が点検初年度であり、院内で統一された評価基準ではなかったことから、評価基準の見直しを行った。
前回からの改善結果	【前回点検時（R2.3）の自己評価 S評価：0項目 A評価：61項目、B評価：23項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善した項目：5項目 →「薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している」 他4項目 ■ A評価からB評価へ悪化した項目：45項目 →「患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている」 他44項目

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和2年度				令和元年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	90.0%	71.3%	3	ご意見箱設置	90.0%	85.8%	4
	広報誌の発行数等	3回	0回	1	新型コロナ対応などで発行まで至らなかった	2回	1回	2
	ホームページ更新数	12回	47回	5	ツイッターで情報発信	12回	12回	5
	交流イベントの開催	4回	0回	－	新型コロナ感染拡大により実施せず	2回	2回	5
良質な医療の実践	紹介率	39.0%	57.3%	5	他医療機関との連携強化	35.0%	58.5%	5
	逆紹介率	26.4%	38.0%	5	他医療機関との連携強化	24.0%	72.5%	5
	病床利用率	15.0%	19.9%	5	24時間365日対応で救急患者受入	14.0%	14.3%	5
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	2人	2人	5		2人	2人	5
	医療安全研修参加率	98.0%	100.0%	5	年2回開催	98.0%	64.4%	2
	資格取得者支援者数	4人	1人	－	看護師特定行為	4人	2人	2
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	12.0%	10.1%	3	24時間365日対応で救急患者受入	11.0%	10.3%	4
	過年度未収金残高	0.5百万円	0.9百万円	2	督促、出張徴収等	0.6百万円	0.3百万円	5

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

県ふたば医療センター附属病院の状況

県ふたば医療センター附属病院			
事業開始年月	H30.4		
年度	R2実績	R元実績	R2-R元
1 施設等の概要			
病床数	30	30	0
100床当たり医師数	17.0	24.0	-7
医師数	2	2	0
100床当たり看護職員数	91.7	86.7	5
看護職員数	27	26	1
2 病院概要			
診療圏の人口	59,995	61,155	-1,160
診療科	内科、救急科	内科、救急科	
3 損益の状況			
病院事業収益	1,162,623	1,111,552	51,071
医業収益	115,170	113,243	1,927
（うち一般会計繰入金）			(0)
入院収益	51,987	50,548	1,439
外来収益	58,017	53,718	4,299
その他医業収益	5,166	8,977	-3,811
医業外収益	1,028,921	986,260	42,661
（うち一般会計繰入金）	(91,559)	(129,629)	(-38,070)
特別利益	18,532	12,049	6,483
病院事業費用	1,161,101	1,110,390	50,711
医業費用	1,140,108	1,097,093	43,015
給与費	363,939	320,815	43,124
材料費	51,486	37,730	13,756
経費	542,072	556,005	-13,933
減価償却費	172,854	170,873	1,981
資産減耗費	769	425	344
研究研修費	8,988	11,245	-2,257
医業外費用	0	254	-254
（うち企業債利息）			(0)
特別損失	20,993	13,043	7,950
医業収支〔収益-費用〕	-1,024,938	-983,850	-41,088
純損益	1,522	1,162	360
収支差補填額			
（全額地域医療復興事業補助金）	544,611	685,325	-140,714
4 経営分析			
病床利用率	19.9	14.3	5.6
平均在院日数	7.6	6.5	1.1
入院患者数	2,183	1,572	611
1日平均入院患者	6.0	4.3	1.7
入院診療単価	25,223	32,161	-6,938
外来患者数	4,383	4,169	214
1日平均外来患者	12.0	11.4	0.6
外来診療単価	13,411	12,924	487
外来/入院比率	200.8	265.2	-64.4

収益増減理由
○入院収益の増（+1,439千円） ・帰還住民の増加や高齢者施設からの紹介により入院患者数の増（+611人） ○外来収益の増（+4,299千円） ・発熱外来などの実施により外来患者の増（+214人）

費用増減理由
○給与費の増（+43,124千円） ・災害派遣職員が7名から3名になり、民間応援職員も3名から0名になり、減少人員を正規職員として雇用了ことによる。 ○材料費の増（+13,756千円） ・患者数の増及び新型コロナ対策による増 ○経費の減（△15,222千円） ・他県や民間からの応援職員に係る負担金の減 ○特別損失の増（+7,950千円） ・新型コロナ慰労金の増

地域医療復興事業補助金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

ふたば復興診療所

〈参考〉

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和2年12月 改善：令和3年3月
点検結果概要 (令和2年12月)	【S評価：2項目 A評価：20項目 B評価：35項目 C評価：0項目】 ■ 無床診療所のため、病院機能評価項目のうち対象となる項目を抽出し、自主点検を実施。 ■ C評価は無かったものの、「良質な医療の実践」や「理念達成に向けた組織運営」において、A評価の割合が少なかった。
改善結果 (令和3年3月)	【S評価：2項目 A評価：21項目 B評価：34項目 C評価：0項目】 ■ B評価からA評価への改善：1項目 →「人事・労務管理を適切に行っている」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和2年度				令和元年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	75.0%	91.6%	5	飲料水の提供、雑誌・新聞の配置 生活習慣病の方への情報誌配付	75.0%	90.4%	5
	広報誌の発行数等	－	－	－		－	－	－
	ホームページ更新数	24回	24回	5	診療情報の随時更新など	24回	24回	5
	交流イベントの開催	－	－	－		－	－	－
良質な医療の実践	紹介率	13.0%	12.5%	4	地域の医療機関との連携	12.0%	11.3%	4
	逆紹介率	10.0%	9.8%	4	地域の医療機関との連携	9.0%	8.7%	4
	病床利用率	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	－	－	－		－	－	－
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	5	職員への周知徹底	100.0%	100.0%	5
	資格取得者支援者数	－	－	－		－	－	－
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	32.5%	39.1%	5	地域に寄り添った医療の提供	32.5%	42.9%	5
	過年度未収金残高	0.0百万円	0.0百万円	5	督促	0.0百万円	0.0百万円	5

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

ふたば復興診療所の状況

県ふたば医療センター附属ふたば復興診療所			
事業開始年月	H28.2		
年度	R2実績	R元実績	R2-R元
1 施設等の概要			
病床数	【床】	－	－
100床当たり医師数	【人】	－	－
医師数（非常勤）	【人】	(1)	(0)
100床当たり看護職員数	【人】	－	－
看護職員数	【人】	6	5
2 病院概要			
診療圏の人口	【人】	59,994	61,155
診療科	内科/整形外科	内科/整形外科	
3 損益の状況			
病院事業収益	【千円】	250,827	243,579
医業収益	【千円】	97,473	102,147
（うち一般会計繰入金）	【千円】		
入院収益	【千円】	－	－
外来収益	【千円】	96,630	101,442
その他医業収益	【千円】	843	705
医業外収益	【千円】	150,993	136,866
（うち一般会計繰入金）	【千円】	(5,861)	(5,333)
特別利益	【千円】	2,361	4,566
病院事業費用	【千円】	250,667	243,264
医業費用	【千円】	248,764	238,353
給与費	【千円】	86,625	81,911
材料費	【千円】	56,627	57,612
経費	【千円】	80,617	73,099
減価償却費	【千円】	23,753	25,488
資産減耗費	【千円】	758	93
研究研修費	【千円】	384	150
医業外費用	【千円】	18	20
（うち企業債利息）	【千円】	(18)	(20)
特別損失	【千円】	1,885	4,891
医業収支〔収益-費用〕	【千円】	-151,291	-136,206
純損益	【千円】	160	315
収支差補填額	【千円】	120,304	106,605
（全額地域医療復興事業補助金）			
4 経営分析			
病床利用率	【%】	－	－
平均在院日数	【日】	－	－
入院患者数	【人】	－	－
1日平均入院患者	【人】	－	－
入院診療単価	【円】	－	－
外来患者数	【人】	7,311	8,132
1日平均外来患者	【人】	30.1	33.9
外来診療単価	【円】	13,257	12,501
外来/入院比率	【%】	－	－

収益増減理由
○外来収益の減（△4,812千円） ・外来患者の減（△821人）

費用増減理由
○経費の増（＋7,518千円） ・院内感染防止対策及び薬剤補助業務の委託による増加

地域医療復興事業補助金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

### Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況

#### 1 患者数の状況

(単位:人、%)

区 分 病院名	延 入 院 患 者 数				延 外 来 患 者 数			
	R2年度	R1年度	増減	増減率	R2年度	R1年度	増減	増減率
南会津	12,216	17,801	△ 5,585	△ 31.4	48,984	57,129	△ 8,145	△ 14.3
宮 下	2,036	3,448	△ 1,412	△ 41.0	11,990	13,355	△ 1,365	△ 10.2
矢 吹	33,164	37,725	△ 4,561	△ 12.1	21,565	23,256	△ 1,691	△ 7.3
ふたば	2,183	1,572	611	38.9	4,698	4,352	346	8.0
リカーレ	—	—	—	—	7,311	8,132	△ 821	△ 10.1
合 計	49,599	60,546	△ 10,947	△ 18.1	94,548	106,224	△ 11,676	△ 11.0

\*延入院患者数減の主な要因・・・矢吹のコロナ対策による入院抑制、宮下、南会津の常勤医師減に伴う減 など  
 \*延外来患者数減(増)の主な要因・・・コロナ禍による受診控え、他の感染症等患者の激減の影響による減 など  
 (ふたば)訪問看護の取り組み強化、発熱外来対応に伴う増 など

#### 2 県立病院事業の決算額

(単位:百万円)

年 度	H30	R1	R2
病 院 事 業 収 益	6,985	7,546	6,784
病 院 事 業 費 用	6,940	7,180	6,805
当年度純損益	45	366	▲ 21

\*R2年度純損益の主な要因・・・大野病院の減価償却費(912万円)、経費(249万円) など

#### 損益の状況 (消費税抜)

(単位:百万円、%)

区 分	R2年度 (A)	R1年度 (B)	増減 (A-B)	増減率
病 院 事 業 収 益	6,784	7,546	▲ 762	▲ 10.1
医 業 収 益	2,377	2,993	▲ 616	▲ 20.6
うち入院収益	1,051	1,382	▲ 331	▲ 24.0
うち外来収益	983	1,057	▲ 74	▲ 7.0
うちその他医業収益	343	554	▲ 211	▲ 38.1
医 業 外 収 益	4,330	3,994	336	8.4
一般会計負担金等	2,283	2,402	▲ 119	▲ 5.0
特 別 利 益	77	559	▲ 482	▲ 86.2
病 院 事 業 費 用	6,805	7,180	▲ 375	▲ 5.2
医 業 費 用	6,514	6,808	▲ 294	▲ 4.3
医 業 外 費 用	203	218	▲ 15	▲ 6.9
特 別 損 失	88	154	▲ 66	▲ 42.9
当 年 度 純 損 益	▲ 21	366	▲ 387	▲ 105.7

#### 3 収支計画の目標 1 : 政策医療経費

一般会計繰入金のうち

「政策医療に係る経費」を、改革プラン計画期間(H29～R2)中の目標値以下とする。

＜政策医療に係る経費＞					(単位:百万円)
年 度	H29	H30	R1	R2	H29～R2計
目 標 額	1,456	1,407	1,384	1,383	5,630
決 算 額	1,385	1,308	1,355	1,343	5,391

【病院別の政策医療に係る経費(決算額)】

矢 吹 病 院	587	598	593	661	2,439
宮 下 病 院	369	374	313	407	1,463
南 会 津 病 院	429	336	449	275	1,489
ふ た ば	—	671	685	545	1,901
リ カ ー レ	123	108	107	120	458

一般会計繰入金

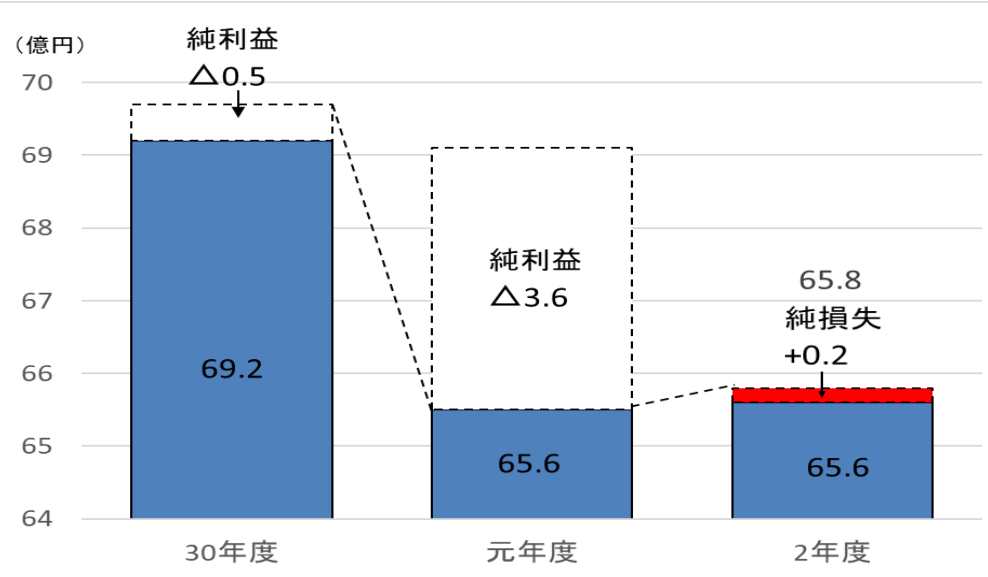
参考:地域医療復興事業補助金

\* 決算額前年度比で1,200万円減、改革プラン目標額比で4,000万円減の13億4,300万円となった。  
 病院別では、前年度比で矢吹、宮下病院が、それぞれ6,800万円、9,400万円の増、南会津病院は、1億7,400万円の減となり、期間累計の決算額は目標値以下(目標額比約2.4億円の減)となった。  
 なお、ふたば医療センター附属病院、ふたば復興診療所(リカーレ)では、政策医療に係る経費として、地域医療復興事業補助金を受け入れているため、引き続き財源確保が必要となる。

#### 4 収支計画の目標 2 : 累積欠損金の処理状況

収益確保・費用削減に努めるとともに、様々な手段を講じ、削減に取り組む。

＜欠損金残高＞



\* 累積欠損金については、当年度は廃止病院跡地の売却に至らなかったことなどにより、前年度比で2,100万円増の65億8,370万円となった。  
 改革プラン計画期間中の目標値60億4,000万円までの縮減には至らなかったが、引き続き、残る未利用財産の売却に取り組み、累積欠損金の削減を図る。